

メディアリリース

IOSCO/MR/26/2019

マドリード、2019年9月30日

IOSCOによる投資家教育の取組みを向上させる助けとなるフレームワークの公表について

IOSCO 代表理事会は、本日、[金融のリテラシーに関するコアコンピテンシーのフレームワーク](#)を公表しました。当フレームワークは、IOSCO メンバー及び投資者教育の担い手、その他の関係者が投資家教育の取組みを行う際の助けとなるものです。

このフレームワークは、利用者に対する投資家教育プログラムの内容についてのガイダンスを含み、どの分野が評価戦略と判断されうるかを示します。

このフレームワークの目的は、ますます複雑化している投資環境のなかで、投資家が備える指針を示すことです。このフレームワークでは、投資家が、どのように投資を分散し、リスクを減らし、持続可能な投資を選択するかについて十分な情報に基づいた決定をすることができるようコアコンピテンシーを身に着けることが求められます。

このフレームワークは、[OECD/INFE の「大人のための金融リテラシーに関するコアコンピテンシーのフレームワーク」](#)及び [IOSCO の「投資家教育及び金融リテラシーに係る戦略枠組み」](#)に基づき、その補完となるものです。利用者は、次の7つの分野に基づく投資家のコンピテンシーを身に着けることが推奨されます：

1. **基礎的な投資原則と概念**：投資に関する幅広い土台となる原則について
2. **投資商品の属性**：商品の構造と手数料、様々な投資商品の潜在的なリスクといった重要な特徴について
3. **投資商品の購入/販売プロセス**：投資商品、金融サービス提供者、投資商品を売買するプラットフォームを選択する際に必要なコンピテンシーについて
4. **投資の保有**：投資の監視及び管理に必要なコンピテンシーについて
5. **投資家の権利と責任**：苦情や救済手続きのような投資家の権利と責任、及び投資家保護処置について
6. **投資に関する行動バイアス**：投資決定をする際に投資家に影響を与えうる感情また

NOTE: This media release is a translation of the original English-language version and its content has not been verified by the IOSCO General Secretariat. For the original, please see <https://www.iosco.org/news/pdf/IOSCONEWS546.pdf>

メディアリリース

は認知バイアスについて

7. **投資詐欺**: 投資詐欺の共通の特徴、及び詐欺の被害者にならないためのコンピテンシーについて

最後に、このフレームワークには、厳選されたコンピテンシーの実例が含まれ、広く一般に適用可能となっています。

このフレームワークを作成するにあたり、IOSCO は、Committee8 (個人投資家のための委員会)のメンバー、及び OECD 金融教育に関する国際ネットワークにサーベイを配布し得られた結果を利用しています。

NOTES TO THE EDITORS については省略。

NOTE: This media release is a translation of the original English-language version and its content has not been verified by the IOSCO General Secretariat. For the original, please see <https://www.iosco.org/news/pdf/IOSCONEWS546.pdf>